

# 『リニア駅周辺整備における各種施設での事業に関する意見交換会』を開催します！

飯田市 リニア推進部

飯田市では、リニア駅（飯田市上郷飯沼）周辺区域への設置を検討している各種施設について、この施設等を活用し事業を行いたい方を対象として意見を伺い、官民連携の導入可能性及び導入手法、施設整備方針等（以下「導入可能性等」という。）について検討を進めるため、駅周辺整備の検討状況をご説明するとともに、民間事業者の皆さんのご意見やアイデアをお聞きする意見交換会を開催します。以下及び別紙のご説明をご覧の上、是非ご参加ください。

- 日 時：平成30年11月21日（水曜日） 13：30～16：30（予定）
- 場 所：飯田市役所 C棟3階 C311～313号会議室
- 対象者：リニア駅周辺の各種施設を活用した事業への参画に関心・意欲のある民間事業者または民間事業者のグループ  
（飲食、物販、エネルギー、農林業、アウトドア、地域・情報サービス等）  
（1事業者5名以内）
- 内 容：(1) リニア駅周辺整備検討状況の説明（設計チーム）  
(2) 参加者からのご意見・アイデアの発表（1事業者5～10分程度）  
※参加者数により時間を調整します。  
※参加にあたり資料の準備（事前提出）をお願いします。（下記「注意事項」参照）  
(3) 全体での意見交換
- 申込方法：参加申込書をEメール又はFAXで飯田市リニア整備課まで提出してください。
- 申込期間：平成30年10月16日（火）～11月12日（月）17：00まで
- 注意事項：(1) 申込みに際しては、次ページの「ご説明」をお読みください。  
(2) 発表内容は、①リニア駅での事業化アイデアの提案、②リニア駅のビジョン提案（駅周辺とまちとのつながり、来訪者や地元の方がどのようなサービスを求めているか等）のどちらかまたは両方としてください。  
(3) 発表の趣旨を簡潔にまとめた資料（様式自由）を2日前までに提出してください。（スライド使用可）  
(4) 内容のうち、(2)参加者からの発表、(3)全体での意見交換については非公開としますが、意見交換会の概要については飯田市ホームページ等で公表を予定しています（事業者名は非公開）。  
(5) 意見交換会には、学識者、本市委託業務『リニア駅周辺整備基本設計業務』の受託者による設計チームが同席する予定です。  
(6) 意見交換会への参加に要する費用は、参加事業者のご負担となります。
- お申込み・お問合せ先：  
飯田市 リニア推進部 リニア整備課 勝岡、木下  
TEL：0265-22-4511 内線3334 FAX:0265-22-5371  
E-mail：[linear-seibi@city.iida.nagano.jp](mailto:linear-seibi@city.iida.nagano.jp)

## 課 題

- ・魅力的な駅前にするためにほしい施設やサービスは？
- ・民間のノウハウや活力を活かして質の高いサービスを提供できる仕組みは？

## 事業者のアイデア

- ・こんなことができたらいいな！
- ・こんなことができそう！
- ・こんな方法がある！
- ・よし、任せとけ～～！

特色ある魅力的な駅前空間



# ご 説 明

## 今回の意見交換会の趣旨について

- ◆この意見交換会は、官民連携の導入可能性等の検討を今後進めていく皮切りとして、民間事業者の皆さんにリニア駅周辺区域整備の検討状況をご説明するとともに、リニア駅周辺区域に設置予定の各種施設を活用した事業のアイデアや駅周辺にどんな施設やサービスが求められるかなどのご意見をお聞きするものです。
- ◆下記の説明をご覧いただいた上で、皆さんのアイデア、ご意見をお聞かせください。

## 1 飯田市の検討経緯

- 飯田市では、リニア中央新幹線（2027年開業予定）の長野県駅（以下「リニア駅」という。）の設置に向けて、リニア駅周辺区域の整備の検討を進めています。

- 「リニア駅周辺整備基本構想」（平成27年（2015年）6月策定）

<https://www.city.iida.lg.jp/site/iida-linear/linearkoso.html>

### <4つの基本方針>

- ①来訪者の移動を支援する“高度なトランジットハブ”を形成する
- ②駅勢圏の拡大に向け、交通アクセス及びネットワークの強化を進める
- ③信州・伊那谷らしさを感じられる景観づくりを進める
- ④信州・伊那谷ブランドを強化し、発信する

- 「リニア駅周辺整備基本計画」（平成29年（2017年）6月策定）

<https://www.city.iida.lg.jp/site/iida-linear/linearkeikaku11.html>

### <駅周辺の4つの整備コンセプト>

- ①機能的でコンパクトな駅空間  
～ 高度なトランジットハブの形成によりスムーズな乗換えを実現する ～
- ②信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間  
～ 来訪者へのおもてなしを実現する ～
- ③自然との調和を目指した駅空間  
～ 豊かな自然環境に配慮し環境モデル都市飯田を実現する ～
- ④地域と一体化した駅空間  
～ 地域の一体化を実現する ～

### <整備区域内の主な施設>

- ①交通施設：○交通広場 ○パーク&ライド駐車場
- ②交流施設：○魅力発信施設 ○高架下空間 ○交流広場 ○コミュニティ広場

※各施設の整備方針は、別紙1「リニア駅周辺整備基本計画における各種施設の整備方針」を参照してください。

### <今後の整備の進め方>

『リニア駅周辺整備の事業実施の進め方や役割分担については、将来的な施設の運営・管理も含めて、民間活力の導入を視野に入れて検討を行います。』

なお、今後の事業手法として、施設ごとに公募型プロポーザル方式やPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）方式などの導入の検討も行いながら進めていきます。』

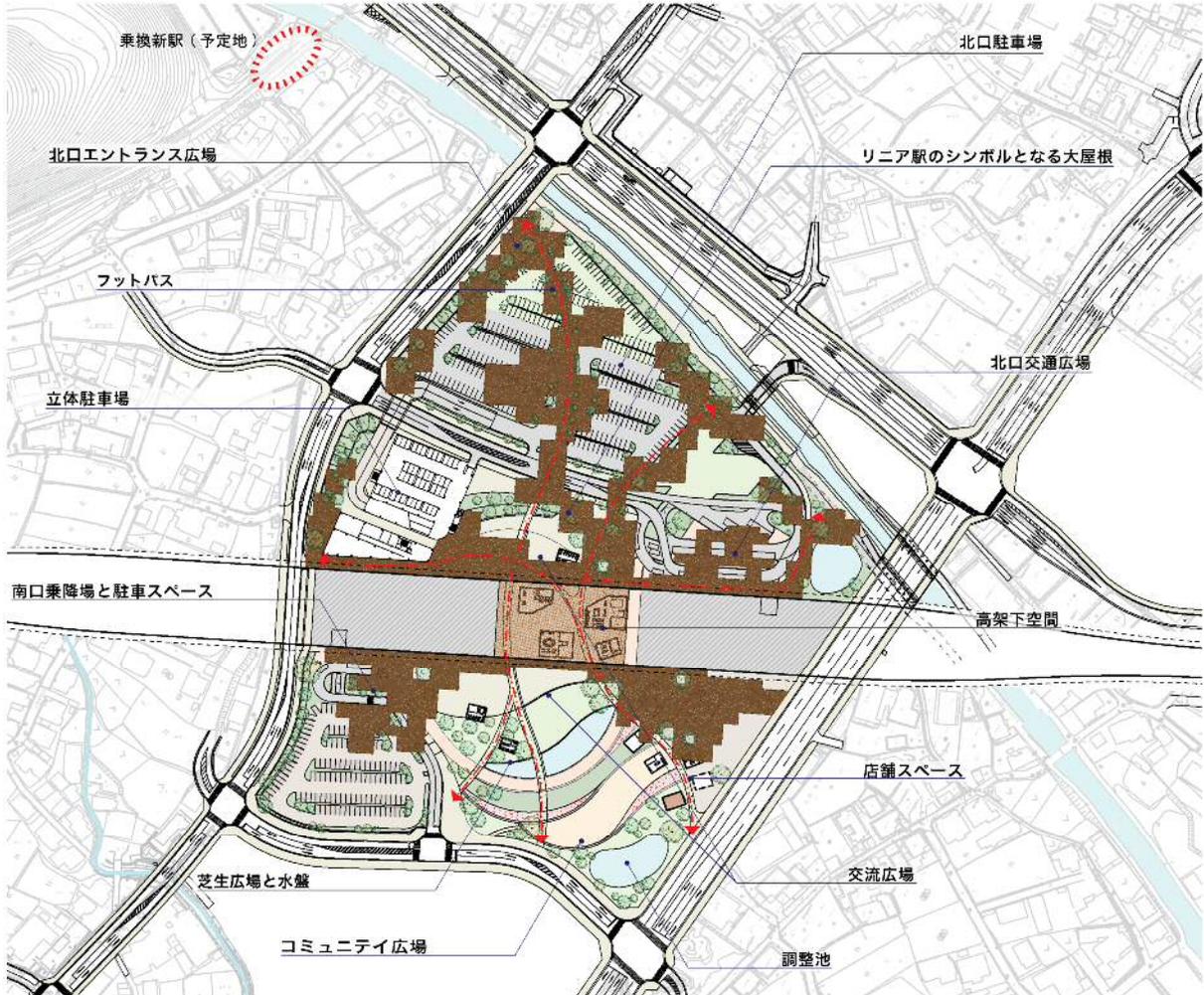
## 2 事業手法に係る基本的事項

### ■ リニア駅において民間活力を導入する場合の対象施設（想定候補）

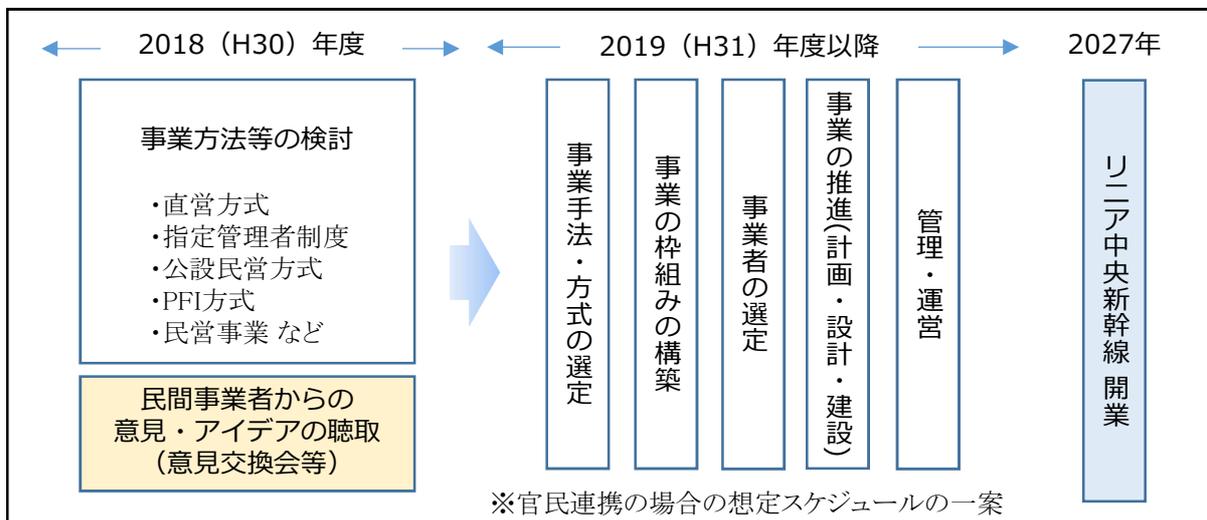
- ①パーク＆ライド駐車場 ②魅力発信施設 ③高架下空間 ④交流広場

### ■ 現在、「リニア駅周辺整備基本設計」の平成30年度の策定に向けて検討しています。

<現時点（10/16）での計画案>



### ■ リニア駅における事業手法の検討・導入に係る工程（概略案）



※現時点での想定であり、実際の時期や内容と異なることがあります。